

# No.12 虫入り琥珀

🌟 キーワード >>> ルーペを用いた観察、古生物の研究 など

**fossil data** Insects in Amber [時代] 新生代古第三紀・漸新世 [産地] バルト海

## 琥珀について

木の樹脂の化石（硬化した樹脂）を、琥珀とよびます。全ての樹脂が琥珀になるわけではありません。琥珀となり得る樹脂を分泌する木の多くは絶滅していますが、現在も生息している植物でいうと、ナンヨウスギ属 [*Araucaria*] またはヒメナエア属 [*Hymenaea*] の樹脂が琥珀となっています。



## 琥珀に閉じ込められた生き物たち

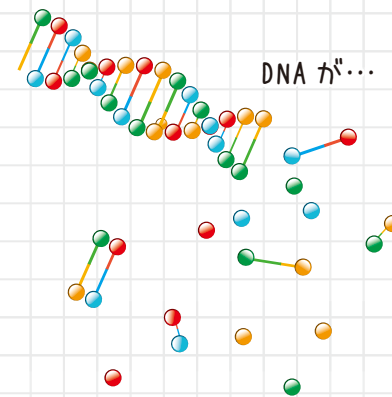
琥珀の中に保存されやすい生き物は、木に生息していたり、樹脂に集まったりするものです。葉、花粉、種子なども琥珀と共に化石に残ることがあります。ごく稀に、脊椎動物の羽毛や骨が保存されることもあります。



## 琥珀の中に保存された DNA から恐竜を復活？

琥珀の中の昆虫から DNA を取り出して恐竜を復活させる映画がありますが、果たして本当に実現できるのでしょうか？残念ながら、それは不可能だと考えられます。

DNA は、アデニン・チミン、グアニン・シトシンという物質が“意味”をもって長く並んだもの。壊れてしまったら、その“意味”を読みとることができないのですが、521 年経つと元々あつ



た DNA の約半分が壊れるという研究結果があります※。そこから 521 年経つとさらにその半分が壊れ、680 万年後にはほぼ全てがバラバラになると考えられています。恐竜（非鳥類型恐竜）が絶滅したのは約 6600 万年前。仮に DNA のかけらが残っていたとしても、それは全てがバラバラに壊れた“意味”をもたないただの物質でしかありません。一方、マンモスの DNA に関する研究は今でも続けられています。

※The half-life of DNA in bone: measuring decay kinetics in 158 dated fossils, Morten E. Allentoft et al., 2012